

[株主のみなさまへ]

# 第21期 第1四半期 決算のご報告

2024年4月1日から6月30日まで

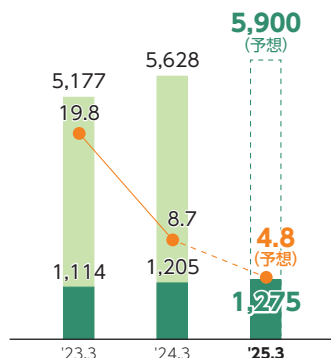


証券コード:6674

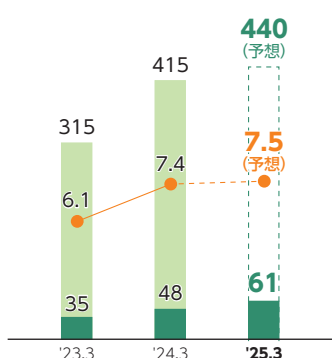
## 1st Quarter Digest



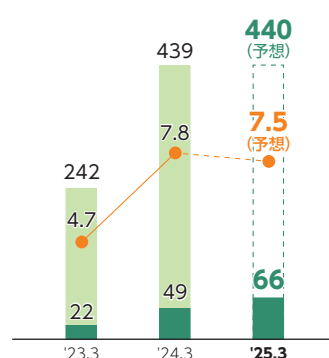
売上高(億円) ■ 1Q ■ 通期  
売上高成長率(%) ● 通期



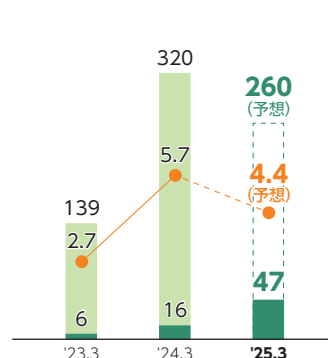
営業利益(億円) ■ 1Q ■ 通期  
営業利益率(%) ● 通期



経常利益(億円) ■ 1Q ■ 通期  
経常利益率(%) ● 通期



四半期(当期)純利益(億円) ■ 1Q ■ 通期  
当期純利益率(%) ● 通期



**売上高・営業利益の増加要因**

- 自動車電池の販売数量の増加
- 各セグメントにおける販売価格是正の効果

**経常利益の増加要因**

- 持分法による投資損益の増加

**四半期純利益の増加要因**

- 法人税等および非支配株主に帰属する四半期純利益の減少

## Full-year Forecast

第21期(2025年3月期) 連結業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
5,900億円	440億円	440億円	260億円

第21期(2025年3月期) 配当予想

中間	期末	合計
20.00円/株	50.00円/株	70.00円/株

## 自動車電池の販売数量の増加や販売価格是正の取り組みなどにより、売上高および各段階利益ともに過去最高となりました。

平素より格別のご高配、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界経済は、長期的な金融引締めの中でも消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調が続きました。一方で、中国経済の減速や継続する地政学リスク、金融市場の変動等、先行きの不透明感が残りました。

このような経済状況の中、当社グループでは、主として自動車電池の販売数量が増加していることや、販売価格是正の取り組みを進めていることにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,275億83百万円と前第1四半期に比べて70億42百万円増加(+5.8%)しました。これに伴い、営業利益は61億84百万円と前第1四半期に比べて13億47百万円増加(+27.9%)しました。経常利益は持分法による投資損益や正味貨幣持高による利得の増加等により、66億86百万円と前第1四半期に比べて17億50百万円増加(+35.5%)しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は海外子会社の繰延税金負債の取り崩しに伴う税金費用の減少等により、47億85百万円と前第1四半期に比べて31億35百万円増加(+190.1%)しました。

通期業績予想につきましては、2024年5月に発表した予想から変更しておりません。引き続き、当社グループへのご支援をお願いいたします。



代表取締役  
取締役社長 阿部 貴志

### 特集 第六次中期経営計画(2023~2025年度)のアップデートについて

当社は2024年7月9日に、第六次中期経営計画最終年度(2025年度)の目標の見直しを発表いたしました。

第六次中期経営計画初年度である2023年度の業績において、既存事業における収益力強化や中国事業見直しなどにより各段階利益が伸長した結果、2025年度の営業利益目標を前倒しで達成したことから、経営目標を見直すことといたしました。

なお、当社は引き続き、①BEV用電池開発、②既存事業の収益力強化、③DX/新規事業の3つの施策を推し進めてまいります。

#### ●方針と施策

##### 方針

Vision 2035で描くありたい姿実現に向けた変革のための土台作りの期間と位置づけ、事業構造変革に向けた諸施策を実行します。

##### 施策

1

BEV用電池開発



2

既存事業の収益力強化



3

DX / 新規事業



#### ●経営目標

	第六次中計 2025年度目標		増減 (B)-(A)
	2023.4当初目標(A)	2024.7修正目標(B)	
売上高	6,100億円以上	6,000億円以上	△100億円
のれん等償却前営業利益 (営業利益率)	410億円以上 6.7%以上	460億円以上 7.7%以上	+50億円 +1.0P
[参考] のれん等償却前営業利益 (超インフレ会計適用前)	-	486億円以上	-
ROE(自己資本利益率)	8%以上	8%以上	-
ROIC(投下資本利益率)	10%以上	10%以上	-
総還元性向	30%以上	30%以上	-

#### ●セグメント別目標

		第六次中計 2025年度目標				増減 (B)-(A)	[参考] 2025年度修正目標 (超インフレ会計適用前)		修正理由	
		2023.4当初目標(A)		2024.7修正目標(B)			売上高	営業利益 (利益率:P)		
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)					
自動車電池	国内	1,000	70 (7.0)	1,000	90 (9.0)	±0	+20 (+2.0)	1,000	90 (9.0)	売価見直しの影響を反映
	海外	2,400	170 (7.1)	2,600	170 (6.5)	+200	±0 (△0.6)	2,600	196 (7.5)	
産業電池電源		1,400	110 (7.9)	1,200	130 (10.8)	△200	+20 (+2.9)	1,200	130 (10.8)	・売価見直しの影響を反映 ・海外における売上高減少を反映
車載用 リチウムイオン電池		1,100	60 (5.5)	1,000	50 (5.0)	△100	△10 (△0.5)	1,000	50 (5.0)	リチウム市況下落に伴う 売価下落の影響を反映
特殊電池およびその他		200	0 (-)	200	20 (10.0)	±0	+20 (+10.0)	200	20 (10.0)	管理部門経費の見直しを反映
合計		6,100	410 (6.7)	6,000	460 (7.7)	△100	+50 (+1.0)	6,000	486 (8.1)	

詳細はこちら

○第六次中期経営計画  
アップデート説明会  
資料・説明会動画

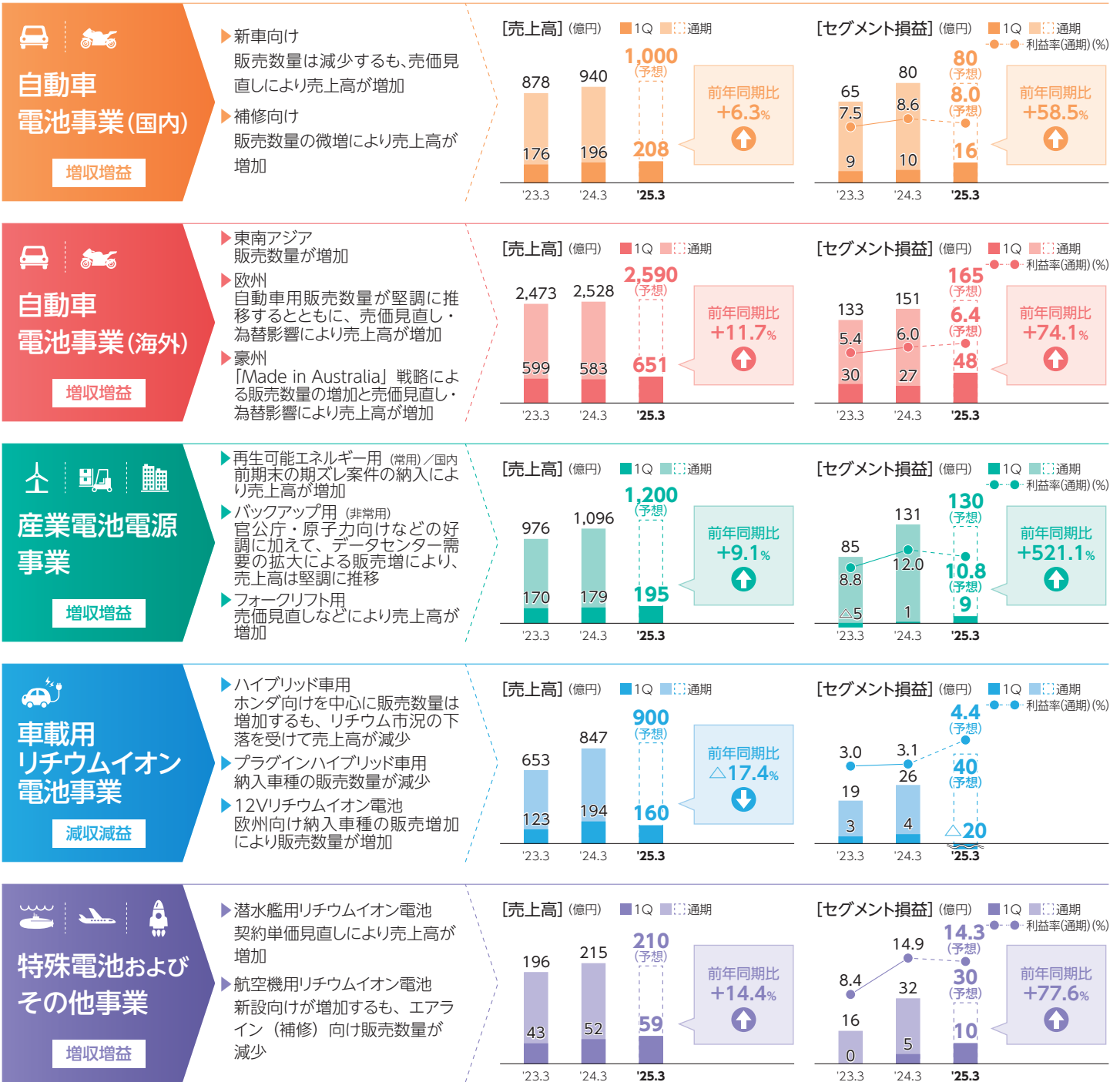
[https://ir.gs-yuasa.com/jp/ir/library/strategy\\_meeting.html](https://ir.gs-yuasa.com/jp/ir/library/strategy_meeting.html)



○長期ビジョン・  
中期経営計画

<https://ir.gs-yuasa.com/jp/ir/management/plan.html>

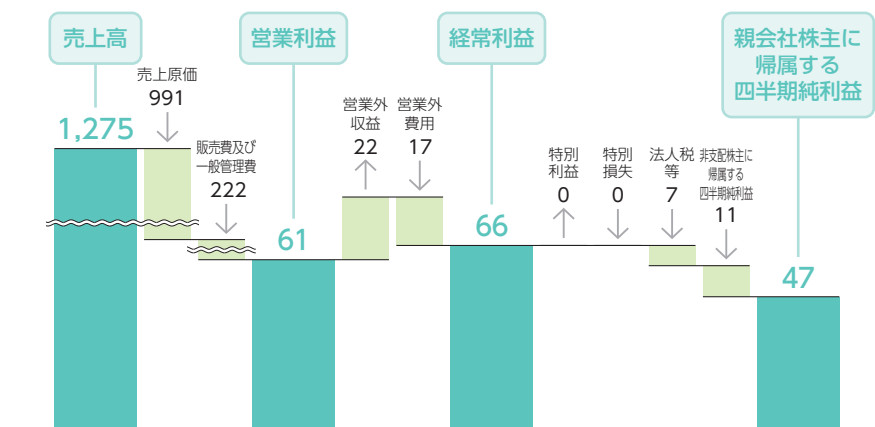
## セグメント別連結業績



(注)セグメント損益はのれん等償却前営業利益です。

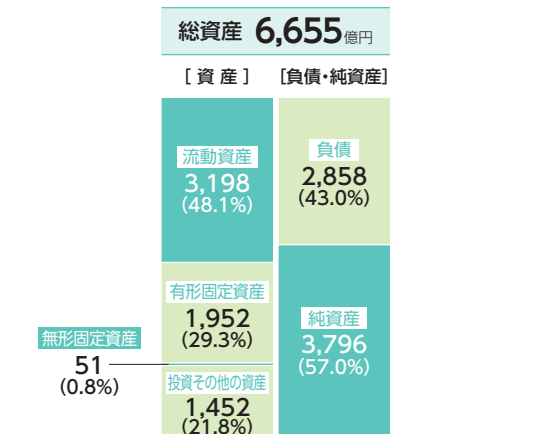
## 連結損益計算書

[当第1四半期] (2024年4月1日~6月30日) (億円)



## 連結貸借対照表

[当第1四半期末] (2024年6月30日) (億円)





## 株式会社ニジオ 角子原パワーストレージステーション向けに 約50MWhの大型システム用リチウムイオン蓄電池設備を受注

株式会社 GSユアサは大分県大分市の角子原(つこのばる)パワーストレージステーション向けに約50MWhのシステム用リチウムイオン蓄電池設備を千代田化工建設株式会社より受注しました。角子原パワーストレージステーションは、株式会社ニジオ(東京ガス株式会社100%子会社)が一般社団法人環境共創イニシアチブの公募する補助金の助成を受けて建設するもので、GSユアサ製品の品質や安全対策、迅速なアフターサービス体制が評価され、採用が決定しました。

本設備の導入により、連系している電力系統に充放電を行い、需要バランスを調整することで電力系統を安定させ、再生可能エネルギーの活用に貢献します。

### ●リチウムイオン蓄電池設備の概要

稼働	出力	容量
2026年度(予定)	25MW	50MWh



角子原パワーストレージステーション  
完成イメージ  
(敷地内に並ぶ白いコンテナが蓄電池設備)

※作成: 千代田化工建設株式会社(Google Mapおよび国土院の地図データを使用)

2024年6月19日のニュースリリースはこちら

<https://newsroom.gs-yuasa.com/news-release/240>



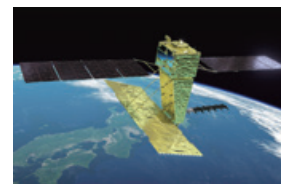
## GSユアサが開発した電池が H3ロケット3号機と先進レーダ衛星「だいち4号」に搭載

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー(GYT)が開発・製造した電池が、三菱重工業株式会社と国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)により開発され、2024年7月1日に打ち上げられたH3ロケット3号機と、同ロケットに搭載の先進レーダ衛星「だいち4号」に採用されています。災害状況の把握や森林観測、海洋監視などに貢献する「だいち4号」にはGYT製の宇宙用リチウムイオン電池が採用されており、地球の陰に入ると太陽光による発電ができない期間に電力を供給します。

GYTは今後も最高水準の性能・品質を持つ製品を、社会インフラ構築に重要な役割を果たす人工衛星と、人工衛星を輸送するロケットに搭載することにより、社会の発展に貢献します。



H3ロケット  
(試験機2号機・提供: JAXA)



先進レーダ衛星「だいち4号」  
(提供: JAXA)



H3ロケット専用  
リチウムイオン  
電池



宇宙用  
リチウムイオン電池  
(セル)

2024年6月26日のニュースリリースはこちら

<https://newsroom.gs-yuasa.com/news-release/242>



### 会社概要 (2024年6月30日現在)

商号	株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション (GS Yuasa Corporation)
事業目的	電池を中心とした事業を営む傘下のグループ企業の経営戦略を策定、統括し、グループの企業価値の最大化を図る。
設立	2004年4月1日
資本金	52,841百万円
本社所在地	京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地 電話(075)312-1211
ホームページ	<a href="https://www.gs-yuasa.com/jp/">https://www.gs-yuasa.com/jp/</a>
上場金融商品取引所	東京証券取引所 プライム市場

### お知らせ

#### 2024年6月27日(木)に第20期定時株主総会を開催しました

株主総会当日の資料や動画をWEBサイトに掲載しています。ぜひご覧ください。

詳細はこちら

<https://ir.gs-yuasa.com/jp/ir/stockinfo/meeting.html>



※株主総会動画の視聴期限は2024年9月末までとなっております。



#### WEBサイト

#### 「サステナビリティ」の情報を2024年度版に更新しました

当社のサステナビリティの取り組みについてまとめています。ぜひご覧ください。

詳細はこちら

<https://www.gs-yuasa.com/jp/csr/>

